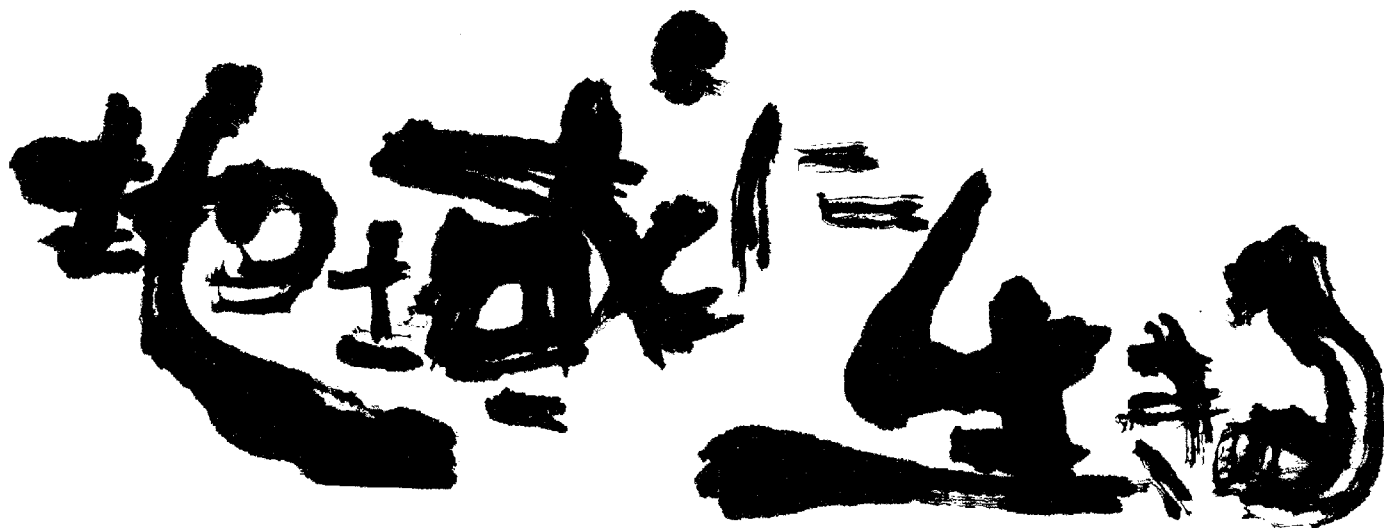


ひゅーまん ネットわーく



2016年 10月 発行／第67号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



第2回 はるにれの里・北摂杉の子会ジョイントセミナー

下写真

受付をしているジョブジョイントおおさかのご利用者

第4次中期計画策定プロジェクトの発足のお知らせ



第4次中期計画策定プロジェクトリーダー ジョブジョイントおおさか 所長

社会福祉士・保育士 星^{ほし}明^{あき}聡^{さと}志^し

1. はじめに

当法人は、1998年2月の法人設立から5年を期間とした中期計画の策定とそれに基づく実施を進め、事業展開をしてきました。

来年の平成29年度は、第4次中期計画の始まりとなる年です。そのため、今年度は第3次中期計画の振り返りと第4次中期計画の策定に向けて取り組みを進めているところです。

第4次中期計画の策定にあたっては、理事長・副理事長の意向もあり、法人内から若手中堅職員を集め、策定にあたってのベースとなるビジョン(案)(以下、ビジョン)を考えることとなりました。このチームを中期計画策定プロジェクトとして位置付け、平成28年12月中にビジョンをまとめることになっています。

ビジョンの策定にあたっては、理事長より「更なる成長と創造、地域貢献(地域を耕す)」というキーワードを示してもらっています。「更なる成長」とは、更なる質の磨き上げであり、マネジメントの質、財務の質、支援の質、人財の質、設備・環境の質、パートナーシップの質の更なる磨き上げを意味しています。また、「更なる創造」とは、制度にない新たな支援サービスも含めての更なる創造です。そして、「更なる地域貢献(地域を耕す)」は、更なる成長と創造を通しての地域貢献を意味しており、当法人の強みを活かしての地域貢献であり、その領域でのリーディング法人を目指すことにあります。

これらのキーワードを通して、中期計画策定プロジェクトを進めることとなりました。

2. プロジェクトメンバー

プロジェクトメンバーについては、法人内の若手中堅職員を中心に、任命と公募によって集められま

した。以下がそのメンバーです。

- ・星明聡志(ジョブジョイントおおさか、ジョブジョイントおおさかたかつきランチ所長)
- ・小林哲理(医療連携推進室長)
- ・伊名岡宏(レジデンスなさはら主任)
- ・櫻本善大(総務部主任)
- ・徳野朱南(自閉症療育センターLinkサービス管理責任者)
- ・小谷翔(こども発達支援センターwillサービス管理責任者)

このメンバーは、経験年数や担当する業務に違いはあるものの、法人理念「地域に生きる」を更に具現化したいとの高い志をもって中期計画策定プロジェクト参加した職員たちです。

私がリーダーとして取りまとめを行うことになりましたが、とても楽しいメンバーになったと感じています。高い志をもったメンバーとともに部署を超えて法人の未来を考えることができ、とてもワクワクしています。

3. プロジェクトの進め方

本プロジェクトは、8月の第1回会議よりスタートしました。初回の会議は、理事長と副理事長の熱い想いや意見をもらいつつ、メンバーで自由な意見交換をするキックオフとなりました。プロジェクトを進める上では、法人内外のニーズや実践、福祉制度の動向、取り巻く経済・社会の動向など、多角的な視点でビジョンを考えていかなければならないと思っています。

現在、当法人は360名強のスタッフが働いており、20の事業所で事業運営し、事業収入は13億円を

超える規模になりました。

法人の理念である「地域に生きる」をベースに、私たちが目指すビジョンである「障害の有無にかかわらず、一人の人間として、生まれ育った地域の中で暮らすことができる、家族や多くの隣人たち、地域の人たちに囲まれて、普通の暮らし、生活をおくることができる、そのようなやさしさのある社会」は、今の事業展開の中で少しずつ実現できてきたのだと思いますが、まだまだ「やさしさのある社会」とは言えない状況でもあるようにも感じます。

法人理念の実現にむけて、次の5年で何ができるのかを検討するため、職員の意見、福祉・行政関係団体の意見、識者の意見を聞く中で、ドラッカーの「非営利組織の経営」にも書かれている明確な「理念、使命、ビジョン」に基づくマネジメント、即ち『われわれの目的は何か』『われわれはなぜ今この事業を行なうのか』『われわれは最終的に何を社会に残してゆきたいのか』について、真剣に考えていくことが必要だと感じています。

また、ジム・コリンズらによってまとめられた「ビジョナリー・カンパニー」にも書かれていますように、ビジョンとは『長期にわたって維持される基本理念と、将来の理想に向けた進歩の二つの組み合わせ』であると思います。変わりゆく時代の中で、「公器としての社会福祉法人」として「何をなすべきか(What)」を考え、その目的を達成するために「どのように実現すべきなのか(How)」について考えていくことで地域社会に貢献でき、地域の財産とさせていただける法人になれるのではないかと思います。

現在のプロジェクトは、3回の会議を実施し、「地域・一般」というミッションを掲げている高槻地区の事業所、「広域・特化」のミッションを掲げる十三地区の事業所でSWOT分析※1を行い、それをクロス分析※2していく中で私ども法人を取り巻く情勢との関係性を議論しています。

また今後は、法人内の職員との意見交換をしつつ、法人外で関係する様々な方のご意見も聞き、5年後の法人のカタチについて考えていきたいと思っています。

※1 SWOT分析：組織を「強み(Strength)」「弱み(Weakness)」「機会(Opportunity)」「脅威(Threat)」の4つの軸から評価する手法。

※2 SWOTのクロス分析：「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」を組み合わせ対照すべき課題を抽出する手法。例(弱み×機会＝「弱み」によって「機会」を逃さないために取り組むべきことは何か)

4.最後に

私は、当法人に入職して4年目となります。それまでは、違う地域の社会福祉法人で9年間、学齢期から成人の方まで生活支援・就労支援と様々な経験させていただきました。

入職した当初から感じる北摂杉の子会の強みは、法人で働く全スタッフの支援の質の高さだと思っています。一人ひとりのスタッフは、目の前の利用者の方の人権を何よりも第一に考え、ニーズベースを大切にしたい支援を行い、役割分担しながら与えられた仕事に取り組んでいます。これは、十人十色であるご利用者の特性を個別的に考え、その方にあった支援や環境を整え続けていくことが専門性としての力を磨き、支援の質の高さとして現れていると感じています。

専門性という言葉は、自閉症支援に特化するだけではなく、「福祉の専門性」という広義の意味が重要であると思っています。それは、コミュニケーション力、調整力、ケースワーク(ソーシャルワーク)力、創造力、マネジメント力など「多様な力」です。当法人で働く全スタッフは、専門性として求められる上記の「力」を持ち合わせており、これが「北摂杉の子会らしさ」であると思っています。

これからも、私たちの強みを活かし続け、5年後も、その先も、業界のリーディング法人として先頭に立って進化し続けられるよう、全スタッフで大切にできるビジョンを作り上げたいと思っています。



プロジェクト会議

北摂杉の子会の第4次中期計画策定に期待する



前理事長 ^{なか}中 ^{むら}村 ^{せつ}節 ^し史

本年2月末をもって、私と沖本さんは理事長と副理事長を退任しました。

私は法人の設立メンバーの1人として18年、沖本さんはジョブサイトひむろの初代家族会長を務められた後、9年間法人の経営に携わってまいりましたが、北摂杉の子会の現在の経営状況、幹部職員を始めとする職員の成長、社会福祉法人を取り巻く今後の新しい潮流などを総合的に判断して、新しいメンバーに経営をバトンタッチするのが最善と前々から判断していた結果です。

法人設立から18年経過した現在に至るまで、新しい理事長になられた松上利男さんの掲げる理念「地域に生きる」、障害者支援についての基本的スタンス、夢などについては、一貫してぶれることなく進めてきたつもりではありますが、当初職員54名・1事業のスタート時と、職員360名強・20の事業所、千数百人の利用者の支援に当たり、特に自閉症・発達障がいについては、指導的立場にある現在の北摂杉の子会における責任、立ち位置、役割は大幅に変わってきていると思います。

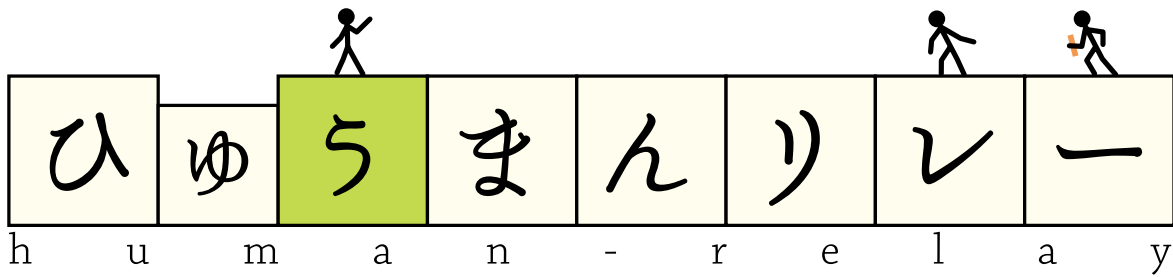
折しも、平成29年からは第4次中期計画がスタートする時期になります。どのような中期計画を策定するかは、単に法人の持続的発展を描くものだけでなく、我々を取り巻く地域や障害福祉業界までに影響が及ぶことを考慮する必要があります。北摂杉の子会は社会的公器としての責任と、周囲からの期待も今まで以上に自覚する必要があります。

第1次中期計画は「法人の基礎固め」、第2次は「適正規模の確保」でした。

第3次計画に至り、本格的に職員の皆さんが中心となって「法人の飛躍」（質の磨き上げ）に挑戦してきました。その間に民間の経営手法である「方針展開」「方針管理」などを導入することにより、PDCAを回す運営も定着し、組織整備やコーポレートのガバナンス体制も整ってきていると実感しております。これらの実績の上に立っての第4次中期計画の策定となります。松上新理事長は第4次中期計画のキーワードを「さらなる成長と創造、地域貢献」と打ち出しています。「さらなる成長は質の更なる磨き上げ」「さらなる創造は利用者、地域ニーズをベースとした不足している支援サービスの創造」とのことで素晴らしいキーワードだと思います。私流に言えば「法人の更なる飛躍（更なる質の磨き上げ）と持続的成長性の確保」となりそうです。

新中期計画は、6人の若手中堅職員を中核として作業を進め、年末までには概要をまとめあげると聞いています。今まで培ってきた明るく、前向きで、風通しの良い法人文化を背景に、新しい時代に即した、フレッシュな感覚にあふれた、しなやかで筋肉質な中期計画が完成することを大いに期待しております。

私たちは経営協議会のメンバーとして今後も法人をしっかり支援していきます。



忘れられないエピソード

社会福祉法人 みんなでいきる 副理事長 かたぎりきみひろ 片桐公彦さんより

私は今、新潟県上越市で「社会福祉法人みんなでき」という法人を運営しています。障害福祉、介護保険、児童福祉事業などを運営しています。この法人は3年前に高齢福祉分野を手掛ける「社会福祉法人桃林福祉会」と私が理事長を務めていた「社会福祉法人りとらふ」が合併してできた法人です。「みんなでき」とはなかなかユニークな名前で、命名した自分たちでも当初は電話に出るときや、名刺交換のご挨拶の時に「み…みんなで…いきるの、か、片桐です」と言い淀んでしまうこともありました。合併の時の私たちの思いは「高齢者も障害者も子どもといった障害の有無や年齢に関係なく、総ての人々がその魅力や可能性を発揮し、その人が生きた証を残せるような社会を作ろう」でした。そんな思いを込めて「みんなでき」と名称にして現在に至っています。

私が福祉の仕事に飛び込んだのは平成10年のことでした。時代は阪神淡路大震災が発生し、オウム真理教事件が世の中を震撼させ、市民活動に法人格を与えるNPO法ができ、そして景気はめっぽう悪く、大変な就職難。この時代に生きた若者

達の多くはいろんなパワーを持ち合わせていたけれど、何となく消化不良のような気持ちを抱えていました。

潮目が変わったのは平成18年、障害者自立支援法のスタートでした。とてつもない規制緩和、月割りから日割りへの転換、3障害統一のサービス体系、事業参入は株式会社でもNPO法人でもOK。私たちの世代の多くは独立し、一国一城の主として社会の中で自分達の消化不良を解消するような実践を始めました。自分たちの投げたボールが不思議な遠心力を保って遠くに飛んでいく風景を目にしてきました。熱量を運び、重みをズシリと持ち、支えたのだと実感できるドライブ感がありました。そんな風にして私たちはある一定の季節を過ごしてきました。

忘れられないエピソードがあります。

私たちが最初に手掛けたのは行政からの委託事業で始まった障害のあるお子さんのための放課後支援の事業でした。人員配置も委託料も今だったら絶対に引き受けない条件でしたが、世間知らずだったのと若気の至りでその委託事業をホイホイと

引き受けました。当時の私の初任給は123,973円でした。事業に必要なお金を引いて、残ったお金を割り算したらその金額でした。お給料の決め方もそんな感じでいい加減でした。

開所初日、お子さんを受け入れサービス過剰ではないかという程に遊びまくり（今だったら「お前、やりすぎだろ、それ」と言ってしまうくらいです）、お母さんの帰りを待っていました。お迎えの車の音が聞こえたので「お母さんがお迎えに来たんだな」と思い、帰り支度を整えていましたがそのお母さんはいつまで経っても入ってきません。どうしたのかと思って、玄関の戸を開けると、お母さんは目を真っ赤にして泣いていました。

どうしたのかと私はお母さんに尋ねました。お母さんは声を詰まらせながらこう言ったのです。「障害のあるこの子を産んで、ずっと悩んで生き

てきた。ましてや自分が仕事に出るなんて考えたこともなかった。でもこうして自分が仕事に出て、お迎えに来た時に子供の楽しそうな声が聞こえた時に、胸が一杯になって入れなかった」

たったこれだけのエピソードですが、私にとっては大事な原体験です。行った支援により、ひとつの家族の人生が前向きに転がり出していった瞬間に私たちは立ち会ったのです。

障害のある方を支えるための知恵も、希望も、向き合う勇気も、すべてその現場で起きたエピソードが教えてくれました。だから、とても不景気な時代に社会に飛び込んだ私たちだけけれど、心の景気だけはめっぼう右肩上がりなのです。

こうした自分の中の原体験を大切にする生き方を、特に若き福祉従事者の皆さんには選んで欲しいなといつも願っています。



地域における包括的支援体制の構築をめざして ～地域連携を考えて～

こんにちは!アイ薬局です!

有限会社アイエムメディカル アイ薬局 高槻店 管理薬剤師 ^{てら}寺 ^{もと}本 ^り理 ^ち智 さんより

初めに、このような機会を与えて頂きありがとうございます。少しではございますが、薬局業務についてご紹介いたします。アイ薬局は、「アイ(愛)のある接客」をモットーに、地域に根ざした薬局を目指しています。北摂地域を中心に関連店8店舗を展開しており、在宅業務にも積極的に取り組んでいます。

まず、現在の薬局業務についてですが、毎日の外来業務及び萩の杜への調剤/服薬指導に加えて、小規模多機能ホーム、グループホーム、介護老人保健施設への服薬調剤、また、別のグループホームへの隔週の調剤及び訪問服薬指導を行っています。さらに、近隣のデイサービスセンターへ通所されている患者さんや同施設へのショートステイ予定の患者さんの服薬調剤も随時行っています。個人宅へは、現在5名/月、計8回程度、訪問服薬指導を行っています。ご要望のある患者さんへは、時間帯や範囲の限りではありますが、お薬の配達もしています。

次に、今後の展望についてですが、これからの薬局の立ち位置は非常に厳しいところにあると思っています。薬剤師は果たして必要でしょうか?何故なら、医師が病状を把握し、看護師がケアをし、介護スタッフがサポートすれば、医療サービスは成り立つためです。しかし、非常に多くの方が患者となり治療期間も長くなっている今、その仕事量は増すばかりです。そこで、薬局薬剤師がどのように関わっていけるかが、地域医療のキーとなるのでは

ないかと思います。医療・介護に携わる皆さんの薬に関する知識検索のひとつとして、もしくは職種をつなぐ仲介役として、私ども薬剤師を大いに利用・活用して頂きたいと思います。

また、私ども薬剤師は、薬のプロとして、患者さんと医療従事者との垣根を少しでも低くすべきだとも思います。忙しい医師に代わって、と言うと多少大袈裟ではありますが、お薬以外のことでも「まずは薬局に相談/お話してみよう」と、気軽に来局して頂きたいのです。ですが、私たちはイエスマンにはなりえません。言わなければいけないことは、お叱りを受けても言い切らなければいけない時もあります。その根底にあるのは患者さんやご家族を思う心なので、必ずいつか理解して頂けると信じています。そのためには、専門職ではありますが、サービス業としてのコミュニケーションスキルが必須な職種であるともいえます。

最後に、いつも密に連絡を頂ける萩の杜のスタッフの皆様への熱い心に感謝しております。これからも、地域に愛される薬局を目指して、少しでも皆様のお役に立てるよう邁進いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



第2回 はるにれの里・北摂杉の子会ジョイントセミナー

第3回 北摂杉の子会研修セミナー 報告

自閉症スペクトラム障害のある人たちへの 合理的配慮について学ぶ

平成28年8月26・27日に高槻市現代劇場中ホールにて、第2回 はるにれの里・北摂杉の子会ジョイントセミナー／第3回北摂杉の子会研修セミナーを開催いたしました。当日は近畿圏からはもちろんのこと、北海道から九州まで全国各地から、両日で303人の方々にお越しいただきました。

本セミナーでは、発達障害のある人に対する合理的配慮について、実践発表やシンポジウムを通して、今後の支援に活かすことを狙いとしていました。また、福祉事業所での職員による虐待事件の約25%が重い知的障害・行動障害を伴う自閉症スペクトラム障がいのある方が被害にあっていることから、職員養成のあり方についても取り上げました。

1日目の午前中は、京都市児童福祉センター副センター長 門 眞一郎 氏の講演で、その中で、自閉症スペクトラムの人への合理的配慮として、PECS（絵カード交換式コミュニケーション法）等の補助代替コミュニケーションを選択できるようにすることが必要と述べられました。

午後からは「障害特性に応じた支援と環境の提供（合理的配慮）の取り組み」と題しての実践発表。『家庭での支援』（自閉症児の父親 柚木 知之氏）『グループホームでの支援』（共同生活援助事業



実践発表 吉岡 主任地域支援員

所やすらぎ主任地域支援員 吉岡 幸輝氏）『就労支援』（当法人ジョブジョイントおおさか主任 山田 優）『高

機能の人の支援』（札幌市地域活動支援センター annapurna〈アンナプルナ〉管理者 佐藤 美和氏）『グルー



実践発表 高野 支援員

プホームでの支援』（札幌市自閉症者自立支援センターゆい支援員 高野 達郎氏）、それぞれの場面で、障害特性に応じた合理的配慮について、掘り下げた発表がありました。

2日目は、自閉症スペクトラム障害のある人への支援を担う人材育成について考えるシンポジウムからスタート。共同生活援助事業所あしり所長 真鍋龍司氏、当法人の地域生活支援部長 平野 貴久、当法人のスーパーバイザー 中山 清司、南海学園支援係長 西村 潤 氏より、人材育成に関する取り組みについて紹介があり、その後、札幌市自閉症者自立支援センターゆい所長 加藤 潔氏のコーディネートにより、様々な視点から人材育成について議論がなされました。

午後からは、厚生労働省 発達障害対策専門官 日詰 正文氏の行政説明からスタート。発達障害者への地域支援施策や発達障害者支援法の改正に関して、詳しくお話いただきました。続いて



日詰専門官による行政説明

『自閉症スペクトラム障害のある人への合理的配慮とは』と題したシンポジウムを開催。当事者の立場から考える合理的配慮について、NPO法人DDAC（発達障害をもつ大人の会）代表 広野 ゆい氏から発言があり、その後、実際に支援している立場から現状を報告。

『司法での支援』では、札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがらの地域支援マネージャー山本彩氏が、『大学



シンポジスト
山本 地域支援マネージャー

での支援』では大阪大学キャンパスライフ支援センター特任准教授 望月 直人氏が、『地域での支援』では、NPO法人そらいろプロジェクト京都理事長 赤松 隆滋氏が、それぞれの支援の実情を、熱く語っていただきました。

最後になりましたが、ご参加いただいた多くの方々にこの紙面をおかりしまして、お礼申し上げます。貴重なお時間を割いてご記入いただいたアンケートも大変参考になるものでした。また、大阪府第10区（高槻市・島本町）選出の衆議院議員、辻元 清美 議員・大隈 和英 議員・松浪 健太 議員よりお祝いのメッセージを頂戴しました。



多数お集まりいただきました

来年度以降もこの研修セミナーを継続して開催したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

◎ 講演について ～ご感想・ご意見～（抜粋）

色々な状態の方の事例をきけて、自分も含めて全ての方に共通することがたくさんあることがよくわかりました。今後に生かしたいと思います。

門先生のPECSや表出性のコミュニケーションについてはとてもわかりやすく、今後の支援の参考になりました。

専門的に見た視点や実際、地域で実践している方法を知る事ができました。

シンポジスト4名の合理的配慮についての視点のお話は圧巻でした。

「合理的配慮」は、「共に生きる」ための「手段」であって「目的」ではないことと学びました。

人材育成の具体的取り組みがわかってよかった

赤松さんの熱い思いにととても感動しました。地域にも赤松さんのような方が増えたらと思います。

まだ5才ですが、大人の当事者の方のお話や行政のこと、大学でのことなどまわりの状況も教えていただき、将来に少し希望が持てました。

シンポジウム、とても勉強になりました。特に広野さんのお話は、当事者としての視点について深くお話し頂き、本当に良かったなあと思います。

いろいろな分野の方のお話を教育にも活かしていきたいと思います

赤松さんのお話は、福祉業界で求められる人材育成に必要な「やる気」「意欲」のある良い事例であったと思います。

サポートセンターPASSO 思春期男女のマナー講座の开拓



児童発達支援部 副部長 サポートセンターPASSO



児童発達支援管理責任者・臨床発達心理士 おお かわ かよこ
大 澤 佳世子

■ はじめに…

児童発達支援部 サポートセンターPASSOでは、「放課後等デイサービス」の福祉制度を活用して、小学校4年生以上高校3年生までの自閉症・高機能自閉症・アスペルガー症候群の発達障がい児の専門療育を実施しております。思春期を迎え、学習や同世代との人間関係や親子関係の悩みなどを抱えながら、ライフスキル獲得や自己理解、感情のコントロールや社会性向上をめざし通所されています。

■ 中高生の第2次性徴における理解とマナーの指導の必要性…

- ①サポートセンターPASSOの中高生のご利用者の第2次性徴の理解やマナーについては、これまで個別に書籍等を参考に支援してきましたが、年々ご利用者が増え、成長とともに性教育が目標に上がり、「第2次性徴における理解とマナー」について統一した講座が必要と考えました。
- ②高機能自閉症・アスペルガー症候群の方には理解できる文章などによる説明も、知的障がいのある方には分かりにくく、新たに知的障がいのある中高生を対象に男女別に教材を作成し、指導する必要性を感じていました。

■ 解決方法と成果

☆男子マナー講座

4～5回連続で簡単な講義をパワーポイントで実施。



クイズ形式によるおさらいを2人までのグループで実施。

対象：知的障がいのある中高生（4回）5名
高機能自閉症の中高生（5回）2名

※すべて男性スタッフが対応

1回目「おとなになること ～体の変化について～」
：絵や図で示す

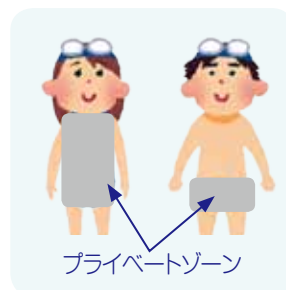
2回目「マスターベーションについて」：していい場所・処理等

3回目「プライベートゾーン ～じぶんだけのばしょ～」

4回目「清潔習慣について」：洗顔・ひげそり・デオドラントなど

5回目「心 ～気持ち～」

→高機能自閉症のご利用者向けに「気持ち」について理解を深めていきます。この時期は異性を好きになったり、他者と自分を比べて落ち込むなど気持ちの変化がよくあるということを知り、自分の気持ちを信頼できる大人に相談すると良いということを確認します。



☆女子マナー講座

3回連続で簡単な講義を絵や写真満載の冊子で実施後、クイズ形式のおさらいを3人までのグループで実施。

対象：知的障がいのある中高生4名

高機能自閉症の中高生3名

※すべて女性スタッフが対応



1回目「生理について」

→生理の簡単な仕組みから、生理中の過ごし方「こんな時どうする？」など場面ごとの対処の仕方
様々な種類の生理用品や便利グッズの実物の紹介後、実際に見て触って扱ってもらう。

2回目「プライベートゾーンについて」

→“プライベートゾーン”とは何かを確認し、プライベートゾーンを触らせない、見せない技として、下着やインナーパンツなどのグッズの紹介も行います。

3回目「おしゃれ(ファッション)について」

→TPOに合わせた服装について考えていきます。

※1回目→2回目→3回目と段階的に女子力をアップすることを視覚的に示していきま

■全体を通して…

1. 個々に合わせた「性教育」

中学校や高校・支援学校等で「性教育」は行われているものの、全体に向けて一斉に行っているために、理解できないことが多かったようですが、個々に合わせた「性教育」実施後は、「よくかった」「PASSOで自分に合わせてやってくれてよかった」という声をいただきました

2. 意識の変化

タイトルを、“女子力アップ講座”や“カッコいい中高生になるために”としたことで、意欲的に取り組む姿が見られました。スタッフの話を聞くだけでなく、チェック項目に自分でチェックできるようになり、実物を用いた取り組みは15分程かかる講座の中でも集中して取り組めるために効果的でした。

3. 不安の軽減

グループの中で情報共有することで、普段は聞けないことや、他者はどのようにしているかを知ることができました。また、スタッフにプライベートな事を相談することで「思春期の悩み」に対する不安を軽減することができました。

■今後に向けて…

1. 身だしなみの課題が多かった！

性教育の前に、身だしなみに関しての課題が多いので、「ひげそり」や「生理用品の使い方」、「洗顔やスキンケア」「季節やTPOに合った服装」「散髪とヘアスタイル」などの項目についてのアンケートをご利用者や保護者に取ったのち、「身だしなみ講座」を考えたいです。

2. 個々に合わせた教材の充実

男女マナー講座で使用するパワーポイントやクイズプリント、レジュメをそれぞれの特性に応じて試行錯誤し、対応できるようにしたいです。また、男女マナー講座後のライフスキル習得に向け、使用する手順書についてもそれぞれの特性に応じたものを作成していきたいです。

3. 相談できる環境づくり

男女マナー講座終了後も、PASSO相談や療育の中での時間を使って、普段学校や家では聞けない「性」や「身だしなみ」についての相談が気軽にできる環境を提供していきたいと思います。

4. 保護者様向けのフォロー

保護者から『「性」についてどう教えたらいいのかわからない』『どの程度関心があるのかわからない』という声があります。保護者研修や療育相談などの機会を使って保護者向けにも対応の仕方、男女マナー講座でどういう事をしているのかなどを知っていただく機会を増やすことができるように、方法を検討したいです。また、保護者研修で「男女マナー講座」の紹介をさせてもらったところ、「他の兄弟児（姉妹児）にもこの講座を受けさせてやりたい!」「学校の先生にも教えてあげたい!」などのお声をいただきます。



この講座は、個別専門療育の中で、個別のアセスメントのもとにご利用者に合った指導の実施をしております。上記の要望にお応えするため、まずは保護者研修内で情報提供していくことを視野に入れていきたいと考えております。

発達障がい者支援コーディネーター派遣事業と 冊子「発達障がいの方への相談支援 ～身近な地域での支援のために～」の作成

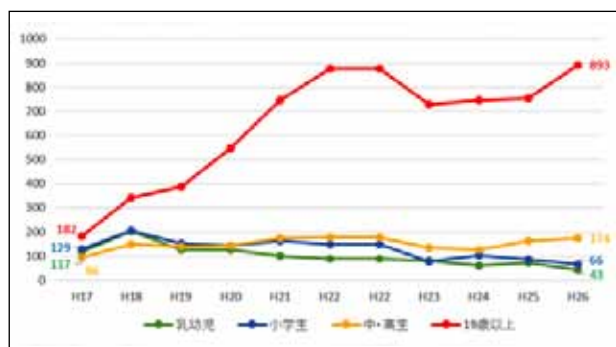


大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか 主任
臨床発達心理士・保育士 **いわき 城 望**

■ 従来の状態と問題点

平成14年6月に開設した大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか（以下、アクトおおさか）は、当法人が大阪府から「発達障害者支援センター事業」の委託を受け、乳幼児期から成人期の発達障がいのあるご本人や家族、関係機関からの相談をお受けしています。

アクトおおさかでの相談支援事業では、主に電話相談・来所相談を実施していますが、これらの相談を合わせた相談者数（実人員）は、年々増加しています。



こうした背景には、大阪府内における乳幼児や学齢期の支援体制については療育や支援教育など整備がされてきましたが、成人期の発達障がい者への支援体制の整備が、ニーズに比べて進んでいないことを反映していると思われます。よって、急増する成人期発達障がい者からの様々な相談に対応できるよう、市町村における障がい福祉サービス事業所や支援機関等の発達障がい者に対する支援力を高める必要がありました。

■ 「発達障がい者支援コーディネーター派遣事業」の展開

この事業は平成25～27年度にかけ、“アクトおおさか”及び“NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク”が大阪府より委託を受け、障がい福祉サービス事業所等の発達障がい者に対する支援力の向上を目的に事業所等を訪問し、助言指導や研修等を行なったものです。さらに、3年間の事業のまとめとして、冊子「発達障がいの方への相談支援 ～身近な地域での支援のために～」を作成しました。

〈事業の流れ〉

年度ごとに、事業案内チラシを作成
大阪府より事業所へ配布

事業所からの申込
コーディネーターを派遣する事業所を決定

事業所を訪問
発達障がい者支援の経験、困っている事例について、希望する研修について等の聞き取り

事業所のニーズに合わせ、事業実施
発達障がいに関する基礎的な講義や事例検討等
(1事業所あたり4～5回の訪問)

事業開始年度（平成25年度）は、個別の事業所からの申込がほとんどでしたが、最終年度（平成27年度）については、市障害福祉課や基幹相談支援センターなど、地域の障がい福祉サービス展開の中心となる機関からの申込が増えた形となり

ました。結果、市町村の支援体制の中（具体的には、自立支援協議会など）で、研修や事例検討などを行うことができ、平成25年からの講義及び事例検討への延べ参加人数は1,000人以上となるなど、より多くの支援者に対して啓発活動を実施することができました。

■ 冊子「発達障がいの方への相談支援 ～身近な地域での支援のために～」の作成

上記事業の実践を踏まえ、“大阪府”“NPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク”“アクトおおさか”とで何度も議論を重ねながら、冊子を作成しました。

地域の相談支援事業所や就労支援事業所などにおいて、発達障がいのある方の支援を行うにあたって必要なポイントについて述べるとともに、関係機関との連携や支援事例などについても記載しています。



■ 「発達障がいの特性に配慮した相談支援のポイント」についての概要

アクトおおさかが執筆担当した第2章「発達障がいの特性に配慮した相談支援のポイント」では、アクトおおさかでの相談の現状について説明し、その上で、発達障がいのある方との相談活動における聞き取りのポイントと、相談の進め方について紹介しています。特性から考える配慮の工夫については、相談という活動の枠の中でも可能だと思われる工夫や配慮について、実際に事業所を訪問し助言したことが多かった内容を主に抽出するようにしました。

また、地域での相談の現状については、地域の事業所に対して実際にアンケートを配布し、その結果を記載することで、アクトおおさかとして実際の現場で支援されている支援者の方がどういったことで困っているのかという内容を記載しました。実際に地域の現場がどう思っているのかというリサーチ

結果を根拠に事業展開をしていきたいという思いを形にしたものです。

■ まとめ

この「発達障がい者コーディネーター派遣事業」を通し、発達障がいの診断はあっても既存の障がい福祉サービスや支援の枠組みでは対応が難しい方や、発達障がいの疑い（グレーゾーン）のある方に対し、試行錯誤しながら支援されている地域の状況を伺い知ることができました。また、これまでアクトおおさかとして、事業名は変わりながらも継続してコンサルテーションを実施してきた結果、個別の事業所への啓発というところから、その関係機関を含めた啓発へと広がりを見せ、そして、自立支援協議会など地域単位での啓発へ、という段階に発展してきています。

この事業が終了し、次の事業展開を考えるにあたっての振り返りで、これまでの事業には必ず意味があり、それを踏まえてこそ、次の展開につながっていくのだと感ずることができました。今までアクトおおさかを支えてくれたスタッフや法人に対する感謝の念とともに、法人の理念「地域に生きる」の実現のために、できることを考え、他機関と協働していくことが必要だと強く感じています。

発達障がいのある人が身近な地域で安心して暮らし続けるために…アクトおおさかに求められる役割について、時に振り返り確認をしながら、今後も日々の支援に取り組んでいきたいと思ひます。

最後に、この「発達障がい者支援コーディネーター派遣事業」を活用して下さった事業所の皆さま、冊子作成で協力させていただいた“NPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク”の担当者さま、この事業実施を見守ってくださり、さらに今後の展開と一緒に検討して下さった大阪府関係部局の皆さまに感謝し、御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



杉の子 いいね!

🎨 レッツ 🎨
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

バースデイカード



●スタッフのコメント (児童発達支援部)

今回ご紹介させていただいたバースデイカードは、療育の日にお誕生日を迎えられたご利用者に、同じグループのお友だちからプレゼントされたカードです。お二人は、とても仲の良いお友だちで、一緒に出掛けられた時の思い出と、これからも仲良く過ごしていきたいという思いを写真とメッセージで伝えて下さいました。

アニメのキャラクターのイラスト



●スタッフのコメント (児童発達支援部)

療育のリラックスタイムにご自身の好きなアニメのキャラクターを書いて、余暇を過ごしてくださいませご利用者の作品です。普段は、ご自身の好きなキャラクターを書くだけでなく、友達の好きなキャラクターの線画を書いてコピーし、友だちに色を塗ってもらって共同で作品を作られたりしているそうです。

●ご本人のコメント

色の重なりや色の調整をがんばって書きました。夏休みに書いたお気に入りのです。

堀紗萌子さん



絵 画



ロバ



カーネーション



ざくろ



人形



●スタッフのコメント (地域生活支援部)

毎日、日中活動や食事といった活動の合間に、グループホームで自室の机に向かわれて絵を描かれています。月に2回、ガイドヘルパーさんに行き帰りを同行してもらい、高槻駅前のアトリエ教室にも通われています。紹介させて頂いている絵画も、小さい写真では分かりにくいですが、多色のクーピーペンシル等を使い、多彩な色合いに仕上げられています。

●ご本人のコメント

スタッフの「絵は好きですか?」の問いに満面の笑みで応えて頂きました。

❖❖❖ 人材育成研修室のご案内 ❖❖❖

今年度、法人の総務部の中に人材育成研修室という部署がもうけられました。これまでの研修相談支援室の業務を引き継ぎ、さらに発展させていくことを狙いとしております。自閉症スペクトラムを中心に、発達障がいのある人に適切な支援ができる人材を育てていきたいと考えております。

単発の講師派遣に加えて、定期的なコンサルテーションの契約を交わした法人も幾つかあり、府外の施設へも出向いて、支援の現場を見ながら具体的な助言、講義やグループワークなどを通じて、支援員さんのスキルアップをお手伝いしています。

4月から9月にかけて、月に1度の割合で強度行動障がい支援スーパーバイザー養成研修を行いました。強度行動障がい支援者の養成は、国を始め、各都道府県でも行うよう厚生労働省が予算措

置をしていますが、この研修は、我が法人の知見を生かして独自に行おうとするものです。前期は、外部から6法人10名の参加があり、その内4法人は府外からの参加で、地方へ行くと行動障がいを呈する人への支援をまとまって学べる機会が限られるものと思われます。8月と9月は参加された施設から事例を出してもらい、受講者みんなで支援について考えました。素晴らしい支援の実践がきっかけでした。後期も同様の研修を企画しています。

近年、障がい者権利条約が批准され、差別解消法や虐待防止法ができました。そんな中で重要視されているのが、合理的配慮です。発達障がいの人への合理的配慮がスムーズに構築できる支援者を育成できればと思っています。

❖ 今年度前期の実績

講師派遣

児童発達支援センター くすの木園

社会福祉法人ライフサポートはる

第二博愛

高槻市認定こども園

高槻市立第七中学校

とよなかファミリーサポート・センター

枚方市子ども総合相談センター

まつさかファミリーサポートセンター

美山育成苑

守口市教育委員会指導部学校教育課

有限会社 クレセント

高槻市民生委員児童委員協議会

大阪府社会福祉協議会

豊中市社会福祉協議会

箕面市教育委員会

摂津市教育委員会

和泉市教育委員会

泉大津市教育委員会

豊能町教育委員会

コンサルテーション

名張育成会 名張育成園成峯

社会福祉法人来島会 南海学園

社会福祉法人来島会 今治福祉園

社会福祉法人一羊会

(平成28.9.30現在)

❖ お問い合わせ

人材育成研修室 担当：堀内・河辺

TEL 072-662-8133

FAX 072-662-8155

Eメール info@suginokokai.com



北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成28年6月～8月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、
 様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。
 過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。
 ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。
 ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧
 ください!

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	児童デイサービスセンター an 事業所見学会ご案内
	こども発達支援センター az 事業所見学会ご案内
お知らせ	機関誌「手をつなぐ」に理事長・松上利男執筆原稿が掲載
	月刊誌「さぼーと」に当法人職員・河辺太一執筆原稿が掲載
	全日本自閉症支援者協会声明文 「津久井やまゆり園の事件について」
法人案内	平成27年度 資金収支計算書
	平成27年度 事業活動計算書
	平成27年度 貸借対照表
	平成27年度 財産目録
	平成27年度 事業報告書
	平成27年度 監事監査報告書
松上利男の一言	第65回 保護者・家族との連携のあり方を考える ～社会福祉法人の在り方を巡って～
機関誌・報告書	機関誌64号掲載
	虐待防止委員会・広報誌『はなみずき』6号掲載
よどのコロツケ	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・ディ情報更新



掲示板コーナー

(平成28年6月から平成28年8月まで)

法人本部総務部 掲示板

6月	行	事
2日	法人採用見学会	(レジデンスなさはら・ぶれいすBe)
4日	たかつき福祉就職フェア	(高槻生涯学習センター)
6・20日	経営会議	
7日	法人採用見学会	(萩の杜・こども発達支援センターwill)
9日	法人採用見学会	(ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか)
10日	権利擁護虐待防止委員会	
10・24日	運営会議	
14日	自閉症啓発デー会議	
17日	医療連携推進室会議	
19日	法人採用筆記試験	
21日	総務管理会議	
23・24日	法人採用一次面接	
28日	新入職員研修	

7月	行	事
4日	法人採用二次面接	
5日	追手門学院大学	学内説明会
6・25日	自閉症啓発デー会議	
8・22日	運営会議	
11・25日	経営会議	
12日	京都女子大学	インターン説明会
16日	福祉のお仕事就職フェア	(インテックス大阪)
23日	平成28年度 第2回法人研修	(高槻現代劇場 305号室) ・合理的配慮について/各事業所の実践報告 ・第4次中期5ヶ年計画について グループワーク&発表
27日	龍谷大学 山田ゼミ	インターン説明会 総務管理会議
29日	医療連携推進室会議	

8月	行	事
5日	権利擁護虐待防止委員会	
5・19日	運営会議	
8・22日	経営会議	
24日	総務管理会議	
26～ 27日	第2回 はるにれの里・北摂杉の子会ジョイント セミナー (第3回北摂杉の子会研修セミナー) 自閉症スペクトラム障害のある人たちへの合理的 配慮について学ぶ	
30日	新入職員研修	
	医療連携推進室会議	

(河辺 記)



第2回 はるにれの里・北摂杉の子会ジョイントセミナー



実践発表



人材育成について考えるシンポジウム

萩の杜 掲示板

「萩の杜 日帰り旅行」

萩の杜では、ご利用者の余暇の一環として、毎年、日帰り旅行を実施しています。今年度も数名のグループに分かれて実施しています。紙面の都合上、一部の写真ですがご利用者の楽しまれている様子をご紹介しますと思います。

6月2日 箕面スパーガーデン

箕面スパーガーデンで女子会旅行でした。みんなで浴衣に着替えて楽しめました。



6月28日 神戸どうぶつ王国



どうぶつ王国では、動物とのふれあいを楽しめました。

7月7日 滋賀 ミシガンクルーズ

晴天に恵まれ、船の旅を満喫されています。



7月14日 姫路セントラルパーク



セントラルパークでは動物を見たり、乗り物に乗ったりそれぞれの興味に応じて楽しまれました。

(山根 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

8月20日の土曜開所日にひむろ祭りを実施しました！
皆さん、すごく楽しそうな表情でお祭りを楽しんでおられました。

【うちわ作り!!】

それぞれに絵を描いたり、マープリングでうちわを作り、裏面には皆さんお揃いの「祭」のロゴが入ります。



【くじ引き!!】

お菓子と景品の2種類! どれが当たるかドキドキ!



【ヨーヨーつり!!】

なかなか思うようにつれず、悪戦苦闘! つれた時には思わず笑顔に!



(中原 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

6月	行	事
2日	平成28年度 第1回発達障害者雇用支援連絡協議会	
3~4日	平成28年度 発達障害者支援センター全国連絡協議会 徳島大会	
8日	ペアレント・メンター交流会	
9日	地域支援マネージャー事業 泉佐野市・田尻町訪問（事業説明）	
11日	講師派遣：大阪府母子父子福祉推進員研修会	
13日	ペアレント・トレーニング インストラクター養成研修打ち合わせ	
14日	内部研修：感覚プロファイルについて 講師：小林哲理	
15日	大阪府 地域生活支援課と定例会議	
17日	第1回 大阪府発達障害団体ネットワーク	
18日	講師派遣：枚方市・交野市障がい児支援交流会意見交換	
23日	地域支援マネージャー事業 松原市訪問（今後の事業内容について調整）	
29日	地域支援マネージャー事業 寝屋川市訪問（今後の事業内容について調整）	
30日	地域支援マネージャー事業 大阪狭山市訪問（今後の事業内容について調整）	

7月	行	事
1日	講師派遣：オアシス勉強会	
2日	グループミーティング（1回目）	
4日	地域支援マネージャー事業 泉南市訪問（今後の事業実施についての調整）	
5日	地域支援マネージャー事業 泉佐野市・田尻町訪問（今後の事業実施についての調整）	
6日	平成28年度 第1回ペアレント・メンター運営委員会	
7日	平成28年度 第1回発達障がい児者支援体制整備検討部会	
8日	内部研修：「高機能ASDの人たちの就労支援について」 講師：早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授 梅永 雄二 氏	
12日	講師派遣：子どもわいわいネットワーク茨木本部全体研修会	
13日	地域支援マネージャー事業 門真市訪問（今後の事業実施についての調整）	
14日	大阪府 地域生活支援課と定例会議	
22日	平成28年度 第1回大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会	
25日	地域支援マネージャー事業 泉南市役所にて発達障がいの基礎講座	
27~29日	国立リハビリテーションセンター 平成28年度 発達障害地域支援マネージャー研修会（基礎研修）	
29日	地域支援マネージャー事業 泉佐野市・田尻町基幹相談支援センターあいにて事例検討 ペアレント・トレーニング インストラクター養成研修打ち合わせ	
30日	グループミーティング（2回目）	

8月	行	事
1日	ペアレント・メンター活動事前打ち合わせ（豊中市）	
5日	平成28年度 第1回 発達障がい者地域支援ネットワーク会	
31日	平成28年度 第1回 家族学習会	

（内田 記）

ペアレント・メンター交流会



H28年度第1回 大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会



児童発達支援部

○サポートセンター・PASSO

6月	行	事
6日～	平成28年度 前期個別の支援計画作成と面談開始	
11日	第2回 PASSOくらぶ（料理・科学発見）＊7名参加	
16日	第1回 保護者研修入門講座 ＊12名参加	
17日	児童発達支援部職員研修（連続講座1）	
25日	就労準備プログラム1回目（オリエンテーション）＊8名参加	
28日	第1回 保護者研修フォローアップ講座 ＊20名参加	

7月	行	事
9日	第3回 PASSOくらぶ（料理・科学発見）＊7名参加	
14日	第2回 保護者研修入門講座 ＊11名参加	
21日～ 8月3日	就労準備プログラム2回目 （ジョブジョイントおおさか・本部等へ半日職場体験実習）7名参加	

8月	行	事
6日	児童発達支援部職員研修（連続講座2）	

（大澤 記）

○児童デイサービスセンター an

6月	行	事
3日	第2回 保護者研修Aグループ 淀川区発達障がい児等子育て支援事業（淀川区委託）ピアカウンセリング	
15日	平成28年度 指定障がい児支援事業者等集団指導	
17日	児童発達支援部職員研修（連続講座1）	
20日～	平成28年度 前期個別の支援計画作成面談開始	
24日	第2回 保護者研修Bグループ	

7月	行	事
1日	第3回 保護者研修Aグループ	
8日	第3回 保護者研修Bグループ 淀川区発達障がい児等子育て支援事業（淀川区委託）座談会	
11・15・ 29日	淀川区発達障がい児等子育て支援事業（淀川区委託）ピアカウンセリング	
22日	淀川区発達障がい児等子育て支援事業（淀川区委託）親子講座	

8月	行	事
5日	淀川区発達障がい児等子育て支援事業（淀川区委託）親子講座	
6日	児童発達支援部職員研修（連続講座2）	
19日	淀川区発達障がい児等子育て支援事業（淀川区委託）ピアカウンセリング	



○こども発達支援センター will

6月	行	事
1・2・9・ 14~16・ 21~23・28日	高槻市巡回支援専門員整備事業（高槻市委託）	巡回相談
6・9~10・ 13・24・28日	大阪府障がい児通所支援事業者育成事業（府委託）	三島圏域機関支援
6~7日	高槻市巡回支援専門員整備事業（府委託）	巡回相談
10日	第2回	保護者研修Aグループ
17日	児童発達支援部職員研修（連続講座1）	
21~ 9月1日	個別支援計画面談	
24日	第2回	保護者研修Bグループ

7月	行	事
1日	第1回	実践交流会
4・8・15・ 26日	大阪府障がい児通所支援事業者育成事業（府委託）	三島圏域機関支援
5~7・ 19~21日	高槻市巡回支援専門員整備事業（高槻市委託）	巡回相談
8日	第3回	保護者研修Aグループ
15日	第3回	保護者研修Bグループ

8月	行	事
1・4・12・23・ 25・29日	大阪府障がい児通所支援事業者育成事業（府委託）	三島圏域機関支援
3~4・9・ 16~18・ 23~24日	高槻市巡回支援専門員整備事業（高槻市委託）	巡回相談
6日	児童発達支援部職員研修（連続講座2）	

○自閉症療育センター Link

6月	行	事
2・3・9・10・ 16~17・23・ 30日	大阪府障がい児通所支援事業者育成事業（府委託）	北河内圏域機関支援
7日~	平成28年度	前期個別の支援計画作成面談開始
10日	第10回	保護者研修Aグループ
16日	大阪府障がい児通所支援事業者育成事業（府委託）	従事者研修第1回
17日	児童発達支援部職員研修（連続講座1）	
24日	第10回	保護者研修Bグループ

7月	行	事
1・7~8・ 14~15・ 21~22・ 28日	大阪府障がい児通所支援事業者育成事業（府委託）	北河内圏域機関支援
7日	大阪府障がい児通所支援事業者育成事業（府委託）	従事者研修第2回
8日	第10回	保護者研修Aグループ
22日	大阪府障がい児通所支援事業者育成事業（府委託） 北河内圏域 センター等交流会第1回	第10回 保護者研修Bグループ

8月	行	事
4日	大阪府障がい児通所支援事業者育成事業（府委託）	北河内圏域機関支援
6日	児童発達支援部職員研修（連続講座2）	

○こども発達支援センター az

6月	行	事
6日～	平成28年度	前期個別の支援計画作成面談開始
15日	平成28年度	指定障がい児支援事業者等集団指導
17日	児童発達支援部職員研修	(連続講座1)
27日	第2回	保護者研修

7月	行	事
4日	前年度利用者	茶話会
11日	第3回	保護者研修

8月	行	事
6日	児童発達支援部職員研修	(連続講座2)

○こども相談支援センター wish

6月	行	事
17日	児童発達支援部職員研修	(連続講座1)

8月	行	事
6日	児童発達支援部職員研修	(連続講座2)

(谷岡 記)

ジョブサイトよど掲示板

◆ 余暇プログラム ◆ 様々なプログラムを実施し、ご利用者の笑顔がたくさん見られました。



エアロビクス



セレクトランチ



プレジャーブック



カラオケ



プール

◆ 土曜日開所 ♠



外食



調理



♣ コロッケ外販 ♥

以下の場所で外販を行いました。
マルシェ、十三小学校盆祭り、十三中学校、
大阪市社会福祉研修・情報センター、
大阪社会福祉指導センター、夕涼みマルシェ



コロッケ外販



コロッケ店舗での仕事

◇ 就労活動 ◇



かまどやでのお仕事



つくね製造



つくね製造の様子

❖ その他の活動 ❖



慰労会



健康診断「注射頑張りました!」



ぷれいす Be 掲示板

ぷれいす Be では土曜開所日を中心に各チームで、またはチーム合同で様々な余暇活動をおこなっています。今回もその一部をご紹介します。

6月



サッカー大会



入賞しました!



買い物 (エキスポシティ)

7月



プール活動



公園散策



かき氷作り

◆ 夏祭り ♠



ヨーヨーすくい



盆踊り



お囃子



お化け屋敷

8月

◆ おやつ作り ◆

ハイキング



ゼリー



ホットケーキ



イオン (映画鑑賞)



レクリエーション



花火



夏祭り



(下 記)

ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- 掲示板

6月	行 事
4日	大学生事業（就活のスズメ1回目、就活のハジメ1回目）
18日	土曜クラブ、ジョブジョイントOBの会、大学生事業（就活のハジメ2回目）
23日	社会見学（手塚治虫記念館）
27日～ 7月8日	個別懇談期間

7月	行 事
2日	土曜クラブ、ジョブジョイントOBの会、大学生事業（就活のハジメ3回目）
9日	大学生事業（就活のスズメ2回目）
14日	スタッフ研修（他事業所の見学）
21日	社会見学（くるくるプラザ）
22日	企業見学会（すみでんフレンド）
28日	じょぶよる（OB向けプログラム）

8月	行 事
6日	土曜クラブ、ジョブジョイントOBの会、大学生事業（就活のスズメ3回目）
9日	大掃除
10日	実習報告会＋先輩の話
26日	社会見学（読売新聞大阪本社）
29日	企業見学会（パナソニックエコシステムズ）

（山田 記）

土曜クラブ



アウトドアクラブ（アスレチック）

スタッフ研修



おもしろ専門講座



アロマセラピー



タッチケア



食事のマナー

特別プログラム



実習報告会＋先輩のハナシ

JJOBの会



淀川花火大会



生産活動支援部 掲示板

《A型事業推進室》

♪ラウンドワン北心斎橋店へ行ってきました♪



平成28年6月までの約1年半、ポップコーンを製造して卸していた全国のラウンドワンの中で、玉造から近い北心斎橋店へ遊びに行ってきました!ボーリング・ゲームを満喫!楽しい1日になりました☆

ラ ラ シ ョ コ ラ タ カ ツ キ 【LaLa-chocolat/TAKATSUKI】

今回は、レクの様子をお伝えします♪



いただきます♪

カラオケに行きました♪



(木戸 記)

萩の杜家族会 掲示板

6月	行	事
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
16日	Cグループ、Dグループ懇談会	
20日	役員会、萩の杜施設点検。家族会会長懇談会	
25日	安全対策委員会	
30日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	

7月	行	事
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
22日	定例会	・定例会出席者増加対策 ・安全対策委員会からの報告 ・ホットトークのあり方、その他
27日	広報グループ、機関紙66号発送協力	
28日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	

8月	行	事
8日	臨時安全対策委員会	・やまゆり園の事件に対する考え方、対策等
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
25日	安全対策委員会	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）
26～27日	第2回 はるにれの里・北摂杉の子会ジョイントセミナー	

（植松 記）



ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

7月	行 事
5日	第1回定例会（高槻現代劇場206号室） 出席者 会員 39名 欠席18名 来 賓 松上理事長 平野理事 森田施設長 木戸部長 ・家族会報告 東会長より ・法人より現状説明 松上理事長より ・ひむろ移転進捗状況説明 平野理事より ・ひむろ活動報告 森田施設長より ・ララショコラの現状報告 木戸部長より
27日	広報委員会 機関紙66号発送（事務局員）
29日	ララショコラ定例会
8月	行 事
9日	第2回役員会（本部会議室） ひむろ移転について 高槻ふれあいバザーについて ララショコラについて（定例会より） 次回定例会（9/13）について
17日	後援会・臨時役員会（東・新田 出席）
22日	家族会会長会
21～22日	ジョブサイトひむろ移転説明会（主催：北摂杉の子会） 8/21（日）15：00～16：30（東・干場 出席） 8/22（月）19：00～20：30（東・高原 出席） ※場所は両日共「ぶれいす Be」 ひむろ移転予定先近隣住宅・東の宮自治会住民の方々を対象に建設計画の説明と意見交換を行う

（加藤 記）



ジョブサイトよど&ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

6月	行	事
18日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会	合同役員会 (アーリーアーク303号室)
20日	家族会会長会 (法人本部402号室)	出席：永井、玉木
7月	行	事
4日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同定例会 (淀川区民センター)	・「保険について」 ジェイアイシーウエスト株式会社 営業部 主任 濱田 勇 氏 ・家族会から (永井会長、玉木会長) ・施設からのお知らせ (田端施設長) ジョブサイトよど家族会 (出席者：17名) ジェイ・ブランチよど家族会 (出席者：4名)
16日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会	合同役員会 (ジョブサイトよど2階)
8月	行	事
17日	北摂杉の子会後援会 臨時役員会 (法人本部402号室)	(出席：玉木)
20日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会	合同役員会 (ジョブサイトよど2階)
22日	家族会会長会 (法人本部402号室)	出席：永井、玉木
26~27日	第2回 はるにれの里・北摂杉の子会 ジョイントセミナー (高槻現代劇場 中ホール 参加：永井)	

(永井 記)



家族会合同7月定例会



家族会合同役員会

ぶれいすBe家族会 掲示板

6月	行 事
9日	役員会（ぶれいすBe会議室）（出席者：施設長を含め10名） 審議報告事項 ・グループホーム意見交換会の進め方について（意見集約より、会員の間の意見分布が分かるように、参加者には出来るだけ自由に発言してもらうことにする）。 ・掲示板原稿の追認
12日	グループホーム意見交換会（第一回）、高槻市生涯学習センター第3会議室 担当役員（宮本）参加者17名。 ・会長から、会の趣旨説明の後、杉の子会の中期計画における施設整備計画の進捗状態に関する情報提供がなされた。 ・出席者の意見は「今すぐにも入れてもらいたい」という切迫したものから、「まだまだ先きの話し」「正直迷っている」という慎重なものまで、多様であった。 ・今後については、まずは、杉の子会が運営しているグループホームの実情について「勉強会」をしたらどうか。
13日	参観＆ランチ（第一回）担当役員（厚東）参加者9名（6家族） 参観＆ランチという行事が、子どもの様子を確認できる良い機会として定着しており、新規契約者家族からは父親の参加が2組あった。
20日	家族会会長会（出席者：厚東）

7月	行 事
14日	役員会（ぶれいすBe会議室）（出席者：施設長を含めて10名） 審議報告事項 ・行事の報告（第一回グループホーム意見交換会、第一回参観＆ランチ） ・「グループホーム意見交換会」の第二弾として平野貴久理事を招いて勉強会をすることに決定、研修室の空き具合から9月の第一週の日曜の午後に開催されることとなり、案内状を作成して配布。 ・「Beどうし」の原稿確認（意見交換会・第一回の集合写真を入れる）
20日	参観＆ランチ（第二回）担当役員（斎藤、大門）、参加者：9名（7家族）

8月	行 事
17日	北摂杉の子会 後援会臨時役員会（出席者：厚東）
18日	役員会（ぶれいすBe役員会）（出席者：施設長を含め10名） 審議報告事項 ・グループホーム勉強会の進め方について ・定例会の準備日程 ・下半期の活動計画
22日	家族会会長会（出席者：厚東）

（厚東 記）



自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

6月	行	事
6日	オアシス役員会	
8日	ペアレントメンター交流会（ドーンセンター大阪）	
17日	大阪府発達障害ネットワーク会（ドーンセンター大阪）	
24日	オアシスサロン	
29日	ホットメールなにわ（クレオ大阪）	

7月	行	事
1日	山川先生勉強会（アーリーアーク404号） 講 師：山川秀雄先生 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか センター長 テーマ：大阪府の現状について	
12日	オアシス役員会	
17日	就労体験（淀川区民センター） いるか通信発送業務、軽作業を体験	
23日	おやじの会（大阪自閉症協会との共催）	
24日	親子交流会（手織適塾【SAORI会館】） ～さをり織り親子体験会パートⅡ～	

8月	行	事
1日	オアシス役員会	
26～27日	第2回はるにれの里・北摂杉の子会ジョイントセミナー	
28日	調理実習（ドーンセンター大阪 調理室） ＝調理メニュー・活動内容＝ フルーツパフェ 食材の買い物から調理・食事までボラ ンティアさんと一緒に活動	

（坂地 記）



北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対しては萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ジェイ・ブランチよど、ぷれいすBe家族会の皆様を含めて多くの方々にご支援をいただいております。まことに、ありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

<会員数の推移>

6月 個人会員：444名、団体会員：23団体
合計：467名／団体 寄付：5件
7月 個人会員：450名、団体会員：23団体
合計：473名／団体 寄付：2件
8月 個人会員：453名、団体会員：23団体
合計：476名／団体 寄付：1件

(2016年8月末までの新規会員)

個人会員：33名、団体会員：なし 合計：33名

<報告事項>

- 1) 今年度の8月末までに12件、257,000円の寄付、646,000円の会費、合わせて903,000円の資金を頂きました。ご協力ありがとうございます。
- 2) 2016年8月17日(水)に臨時役員会を開催
 - ・2016年4月～2016年7月までの経過報告
個人会員：450名、団体会員：23団体、②寄付：11件、③資金：約94.5万円(会費納入率は個人：44%、団体：30%)
 - ・今年度の後援会から法人への寄附金(210万円)の使途が下記のように決められた。
ぷれいすBeのウォーターベッド、スノーズレンの修理など、willのブロック32、ジョブサイトひむろのEVERENEWジョーバフィットなどの健康用品一式の購入・修理費用に充当する。
 - ・下期の個人、団体会員の方々への会費納入のお願い、会費納入方法などについて協議。

(棚山 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用下さい。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

- | | | |
|-----------|------|---------|
| 1. 寄付金(注) | | |
| 2. 個人会員 | 年間-口 | 2,000円 |
| 3. 団体会員 | 年間-口 | 10,000円 |



郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859



(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

□ 法人へのご寄附に感謝いたします。(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

本荘真理 笠原隆之助 堀江公夫 真野利之 村井尚子 福田啓子 松上利男 植松芳哲 石田泰二 匿名希望

□ 後援会入会と会費納入(平成28年5月23日～平成28年8月17日)

中西邦夫 谷村剛史 中西君枝 塩野高志 谷村佳拓 新川 彰 藤岡 宏 池下貞子 井上誠子 垣本寿也子
沢田良造 久常進治 今村一二三 今村暢也 今村聡之 沢田幸子 久常和子 藤岡紀子 今村圭子 今村誠吾
今村洋子 今村美佐代 朝倉千涼 中村 潤 中村四葉 南 昌子 南 俊一郎 南 直美 南 雄太 南 浩聡
池田秀幸 柏原紀男 柏原孝紀 柏原智恵子 池田万智子 松上文子 中川まどか 戸田純子 金子京子
副島雄彦 梁 恵子 橋長壽子 平田 実 平田登代子 山里文男 川田紀久夫 丹藤優香 丹藤舞香
松岡由美子 森田豊子 森田俊博 森田靖紀 森田和成 鈴木孝雄 田口和人 田口敦夫 田口容子 田寺雅幸
田寺文子 甲木 翠 溝江キチヨ 畠山 洋 畠山和代 畠山直也 畠山 誠 畠山由実子 篠原琴美 本間和子
木下光代 鈴木都美 中島江美子 菅沼朋子 福田浩三 福田浩隆 福田啓子 戸田邦子 白倉俊雄 窪田富佐子
大橋 敏 大橋一予 大橋武司 小林伸次 小林真理子 前田直俊 株式会社 東テストパル

□ 後援会への寄付(平成28年5月29日～平成28年8月10日)

朝倉千涼 棚山薫晴 中川まどか 宮本東雨 村田美和 田口和人 戸田邦子 匿名希望

□ 家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

黒瀬美和子 植松芳哲 本田英世 田口容子

□ 物品のご提供に感謝いたします。(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

柄須賀重雄 滝本比呂古 澤田幸子 野村絹代 山口秀子 松本 荒木 畑中マサ江 不二園芸 赤尾浩子
神田由美子 岡田公子 菅野寿子 阿間美保子

□ ボランティアに感謝いたします。(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

丸和子 ほかほか弁当園田店 坂井恵美子 佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2016年10月10日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所 人材育成研修室**
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **グループホーム みやた** (共同生活援助)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ** (生活介護)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **サポートセンターPASSO**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] passo@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **こども発達支援センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **こども発達支援センター az**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒558-0003 大阪市住吉区長居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
- **ジョブサイトよど** (生活介護)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジェイ・ブランチャよど** (就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
[E-mail] yodo_branch@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきブランチャ**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **法人自主製品店舗 よどのコロッケ**
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号
TEL (06)6306-4096
営業時間: 10:30～17:00(土・日・祝定休)
- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**
就労継続支援B型
〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間: 10:00～19:00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業